

原つ子

学校だより No.32 (通算75号)

令和5年11月17日

小郡市立大原小学校

校長 山本貴澄 Tel 72-5500

合言葉「チャレンジ！みんなで学ぶ やりとげる」

11月のめあて「体をきたえ 元気にすごそう」



【赤い羽根共同募金
ありがとう】

10月31日 人権を考える日の学習 ～自分の心と向き合える学習に～

今年度3回目の「人権を考える日」の学習でした。自分の心に向き合う、自分の言動を外側から見つめる学習活動を大切にしながら取り組んでいます。学習内容と感想です。

【1年生】

教材名：「そんなこといわないで」（道徳）

ねらい：人を傷つける言動のおかしさに気づき、自分がどう行動したらいいかを考える。

相手の気持ちを考えて行動し、友達を大切にしようとする気持ちをもつ。

★ これからもみんなとなかよくなりたい。今までけんかもするけどなかよくなつてうれしいな。

★ いやなことをされてるひとと、してるひとにもはなしてなかよしをふやしたいです。

□ 友達と仲よく過ごすにはどうしたらいいかを考えました。友達の表情や様子に敏感に気づき、その子がどんな気持ちでいるのかを考え安心してもらえるように動ける子になってほしいです。

【2年生】

教材名：「てっちゃん」（道徳）

ねらい：相手の立場になって行動することの大切さに気づく。

友達に対する自分の言動を振り返り、みんなが楽しく遊ぶにはどうしたらよいか考える。

★ わたしは、けんかしたらごめんねといわなきやと思うときがあるけど、あやまらないときもときどきある。でもごめんねといいたいと思いました。わたしは、こんどからけんかしたらあやまりたいと思いました。わたしはけんかはいやです。けんかがないようにしたいです。

□ 「へたくそだからけるな。」とてっちゃんは言われました。自分が言われたらとても悲しいですね。けんかも相手を傷つける言葉から始まります。お互いが気遣ったり、ごめんねが素直に言えるとけんは起きないし、起きてもすぐ仲直りできますね。そんな友達関係やクラスをつくりたいですね。

【3年生】

教材名：「いつもぼくだけ」（道徳）

ねらい：友達の思いを考えず、相手だけを責めることのおかしさに気づく。

自分自身のことや学級を振り返り、友達の思いを大切にして行動できているか考える。

★ わたしは、これから言葉に気をつけて人の気もちやいけんを聞いてかいけつしようと思いました。なぜなら、わたしの言葉や行動で人の気もちをいやにしたり、明るい気もちにしたりするからです。人の気もちはそれぞれだから、いけんをきちんと聞いていきたいです。そして、だれかがいやな気もちになっていたら助けていきたいです。

□ 相手の意見を聞きながら、それが本当のことなのか、その人の本当の気持ちは何なのか、自分がどう発言したら相手を傷つけず納得してもらえるのか、これからも考え続けていってほしいです。

【4年生】

教材名：「小さな一言から」（道徳）

ねらい：「車いす」に乗った人の立場から物事を見ると見えてくるものが変わることから、視点を変えることの大切さに気づき、「いろいろな人の立場の人」の視点で問題を考える。

「いろいろな立場の人」の視点から考え、気づいたことを行動に移す。

★ 今まででは、しうがいがある人なんてみの回りにぜんぜんないでしょと思ってたけど、見てないだけで近くにいたかもしれないし、その人がこまつないかとか、気づける人になれたらいいけど、自分が気づいても助けられなかつたら、見て見ぬふりをしているだけだから、助けられるようにこれからがんばる。

□ 自分に関わることならすぐ気づけそうですが、周りの人が困っていることにはなかなか気づけないかもしれません。道の段差一つとっても私たちには難なく超えることができますが、車椅子には大きなバリアとなります。想像力を働かせて困っている人に気づき、声を出していければと思います。

【5年生】

教材名：「どうして学校にきてはいけないですか」（道徳）

ねらい：○ハンセン病に対する差別について考え、正しく学び、差別をなくしていく態度を身につける。

○自分を見つめ直し、周囲に流されず、正しい行動をしたいという考えをもつ。

★ 私は親に「行かないときなさい。」と言われたらその通りにしそうですが、正しい情報を知っていたら行きます。けど、仲間はずしがこわいという自分もいます。けどその子達はハンセン病じゃないから決めつけで差別したくないです。けどちょっとこわい（ハンセン病になりそうで）自分も話を聞く前はいたからその自分をなくしたい。

□ 自分の心をよく見つめていると思います。仲間はずしがこわい、ハンセン病がうつるからこわいなど正直な気持ちを書いています。そんな自分をどう乗り越えられるかを考えることが大切ですね。

【6年生】

教材名：「新しい文化と学問」（社会科）

ねらい：○杉田玄白らが『解体新書』を著すきっかけとなった解剖の様子を知り、実際の執刀者である「老人」の姿を通して、差別されていた人々が労働を通して優れた知識と技術をもち、当時の医学の発展に貢献したこと気にづく。

★ 私は今日、差別されている人たちだからといって何も悪いことはないし、逆にとても必要とされている技術をもっていることを改めて考えさせられました。その考え方（必要とされている技術をもっている）をこの後の世界にも残していきたいと思いました。

□ もし玄白たちが虎松の祖父の腑分けを見ていなかつたなら、解体新書は本当にできていなかつたかもしれませんね。当差別を受けた人の深い知識や優れた技術が、日本の医学の発展に貢献したのですね。

避難訓練を実施しました！ ～自分の命を自分で守るために～

今週の月曜日、避難訓練を実施しました。授業中、地震が発生し、給食室から出火したという想定で行いました。地震警報を放送し、子どもたちはまず机の下に潜って身を守ります。その後、火災発生の放送を聞いてどこが出火場所なのかを確認し、避難経路に沿って運動場へ避難しました。実施予告をしていたこともあります、子どもたちは「お・は・し・も」を守って落ち着いて避難できていました。三井消防署の方からは、子どもたちの避難時の様子をほめられました。地震や火事が起きたときに気をつけることも教えていただきました。その後、消火体験を行い、6年生の代表の子と職員が消火器の使い方についてデモンストレーションを行いました。

いつどこで地震や火事が起こるか分かりません。大切なことは、実際に災害が起きたとき、冷静に自分の身を守る行動がとれるかどうかです。「自分の身は自分で守る」ために想像力を働かせて、危険を察知したり、危険を回避したりできる子どもを育てていきます。



【机の下への避難】



【消火体験】

大成功でした リバティフェスタ！

先週の土曜日、人権のまちづくり推進委員会主催のリバティフェスタが大原中で開催されました。ステージの部では、3年生が大原リバティセンターの人権啓発の取組で追究したことを自分の生き方につなげて素晴らしい発表をしてくれました。大原小PTAはカレーを販売しました。大変好評で約170食を売り上げました。PTA会長の竹割様をはじめ多くの方にお世話をしていただきました。5年生が収穫してカードを付けて宣伝したお米も100袋全て売り切れました。約700名の参加があり、子どもたち・地域・家庭のつながりを深めることができ大成功のフェスタでした。たくさんのご支援・ご協力をありがとうございました。



【3年生の発表】



【カレー販売】



【お米販売】